



五重塔から「こんにちは」

四季の部 銅賞 八王子市 原田 恵一



ゆつくり楽しめるお寺に

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉 田 純 一

上段の写真は昨年のおじさいまつり写真コンクール銅賞の作品です。五重塔には年に一度だけ四月二十八日の縁日に上ることが出来、晴れて空気の澄んだ日には遠く新宿の高層ビル群が見え、人々を喜ばせています。高幡には塔があった記録がなく、先々代の秋山御前様の住職就任時昭和五年の発願で、晩年昭和五十五年に総高四十五米、塔高三十九・八米、三手先出組、青銅瓦葺で建立、半地下の四百坪の塔院は千体地藏堂と寺宝展会場となっていました。奥殿建立後、現在は参拝者の休憩所となっております。覆鉢には大本山川崎大師平間寺先代の御貫首高橋隆天大僧正猊下ご招来の仏舍利が祀られています。又平成十二年四月二十八日に多摩都市モノレール全線開通を記念して、日野市観光協会と日野市法人会が市内の小中学生から集めた作文・メッセージ・写真等を納めたタイムカプセルが五重塔五層の天井に納められており、因みに開封は二十年後の平成三十二年の予定です。この五重塔は遠くからも見え、今では高幡山のシンボルになっております。平成二十三年の未曾有の東日本大震災では相輪が傾き、甚大な被害をこうりましたが、今現在ではきれいに修復され、皆さんと輝いております。

その後仮本堂であった大日堂は鎌倉様式入母屋造りで根本改修工事に取り掛かり、昭和六十二年春に落慶を迎えることが出来ました。

後を継いだ先代の川澄貫主は約三十年前の平成六年には宝輪閣の落慶、大回廊の新設、新丈六不動三尊を完成し、重文である不動三尊の修復に着手し、平成十二年の帰山直前に不動三尊を安置する奥殿を完成し、新大日如来、虚空蔵菩薩の造立、大師堂・聖天堂の再建等、往時の寺観を凌ぐ伽藍の整備が行われました。又高幡を訪ねる参拝者の方々が楽しめるように境内の木や草に名前をつけたり、いろいろな紫陽花を植え人々を楽しませたりと、お参りに来て一日楽しめるお寺をめざして大変努力していました。数年前より日野ロータリークラブの発案により、山頂付近に曼珠沙華（彼岸花）の球根を植え、九月頃に咲くのを楽しみにしておりました。残された私達が先代の意志をついでこれからも一日ゆっくり楽しめるお寺をめざして頑張っていきます。

お不動さまの心——(二〇〇〇)——

現代の世相から (60) 廣 澤 隆 之

私には息子と娘と二人の子供がいます。息子には女の子が、娘には男の子がいます。私にとってはどちらとも可愛い孫です。私情をこめた書き出しで申し訳ありません。

先日、孫たちの家族と一緒に、お好み焼きを食べに行きました。孫たちがそれぞれに好きなもんじゃ焼きやお好み焼きを頼む姿を見ていると、心温まるものです。食べながら、保育園の年長さんである孫娘や小学一年生の男の子の園や学校での話を聞くのも楽しいものです。

小学一年の男の子は母親の方針でかなり奔放に過ごしています。小さい時からほとんど靴を履くことなく、素足で草履か下駄をはいて外を駆け回っていました。乳児の時に離乳食を食べることなく、牛乳も摂らず、ほとんど肉を食べることはなく、魚と野菜中心の食生活をしています。まるで昭和三十年代の頃のような子供です。素足に草履履きで寒い時には昔の子供みたく、お年寄りには昔の子供みたくと懐かしげに話しかけられることがしばしばあります。

このような生活をしているかなのか、今まで予防注射をしたことがないのに病気知らずで、今年の冬もインフルエンザに罹ることはありませんでした。元気だけが取り柄の子供です。

しかも勉強は好きではありませんが、運動は得意で、その運動神経には驚くことがしばしばあります。木登りが大好きで私の寺に来ては木登りをよくします。小学三年生でもこわがって上れないところでもすいすいと登ってゆきます。時には失敗して木から落ちて怪我でもしたらよいのにと娘と話していますが、なかなか失敗することがありません。なにしろ昔の腕白小僧のような子供なのです。ところが保育園に通っている孫娘はそれとは正反対で運動神経は鈍く、読書が大好きで、大人が驚くような言葉遣いをしたりします。

さて、このような孫たちとお好み焼きを食べながら、私が男の子の遊びぶりを茶化しながら「まるで猿みたい」と言うと、まんざらでもない顔をしていました。ところが孫娘が突然泣いてしまいました。理由を聞いてみ

ると、人間を猿みたいなんて言うなんてかわいそうだと泣きじやくりながら言うのです。よく聞いてみると、人間を動物みたいにいうのはよくないと考えているようでした。そして人間は特別な生きものであると固く信じているようでした。ところが男の子には人間が特別に偉いということが理解できていないのです。

孫たちと話していて、人間をどのように理解するかというたいへん難しい問題に幼児の頃からすでに向かい合っていることに深い感慨を覚えました。そして人間を特別視するという考えがすでに幼児教育の中に組み込まれていることを実感しました。ただ奔放に自然の中で生きる楽しさを味わっている男の子には体験的にそれが実感できていないようでした。

人間を特別視する典型的な考え方はキリスト教に起源をもつ西洋文明に見られます。西洋で考え出された進化論では、生物の進化の最終段階で霊長類が現れ、その中でもすぐれた知恵がある人間が進化の最高位にいると考えられてきました。このような進化論に対抗する生物学が日本で発展しました。そこではそれぞれの役割と場所に適した

生物が生存すると考えられました。その考えのもとになるのは仏教の考えを展開した西田幾多郎の哲学でした。

私たちの文明は、今、人間だけを特別視する考えを根本から改める方向にあります。すでに人間中心の考えのために自然環境は破壊され、地球規模で深刻



不動明王像 画僧 牧 宥恵 師作

な状況が進行しています。政治や経済活動の中でも、今までの文明のあり方を反省して新しい考えを生み出そうと努めています。私たち人間が自然界とどのように関わりあい、どのように共存するかは私たちにとって深刻な課題となっています。人間だけを特別視するだけでなく、それぞれの生物がそれぞれに存

在意義をもち、全体としての自然界の調和が必要となります。

人間の知恵が優れているというなら、猿は木登りで優れているのです。そのどちらも同じように生存するためには価値があるといえるでしょう。孫の男の子は難しいことは考えられませんが、そのことを自分の身体を使って体験的に分かっているように思います。孫娘は本の知識に縛られて、自然の躍動的な生命を感じとっていないのではないかと心配です。好対照の性格の二人の孫を通じていろいろと考えさせられました。

食事を終えて店を出る際に、大勢の大人と子供が交じったグループを見ました。大人たちは酒を飲みながら談笑していました。子供たちはそれぞれにゲームに夢中で会話をしていません。数人の子供はゲーム機がなく、所在なげに無言で座っています。その異様な光景に、肌寒さを感じました。子供が生き生きと食事をしていないことは悲しい光景です。これが人間の知恵がもたらした技術文明の豊かさの光景の断面なのでしょう。

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

自然豊かな高幡不動尊の 春をお楽しみ下さい

3～5月頃咲く主な花を紹介致します



カタクリ



ヤブツバキ



ミズバショウ



カンスゲ

3月頃

山菜蓂、梅（約30株）、
三桠、寒菅、椿（200株）、
黒文字、辛夷（20株）、
菊咲一華、橘、桜（山桜、
江戸彼岸桜、そめいよしの、
八重桜等300株）、
日向水木、土佐水木、
令法、木五倍子、かたくり、
十二ひとえ、猩々ばかま、
春蘭



ボケ



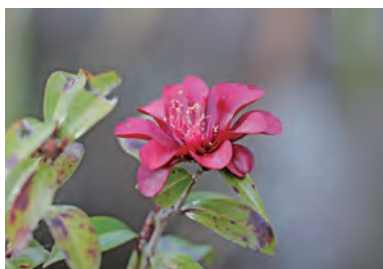
キクザキイチゲ

4月頃

木瓜、馬酔木、山吹、藤、
木苺、つつじ（各種）、
藤、どうだん、沈丁花、
木蓮、連翹、庭梅、二輪草、
薊、ちごゆり、宝鐸草、
黒花ろうばい、水芭蕉



シュンラン



クロツバキ

5月頃

泰山木、山法師、
定家かずら、花水木、
牡丹、卯の花、小手毬、
芍薬、擬宝珠、二人静、
著莪（群生）

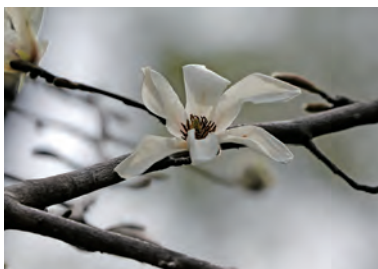
（このほか山内には自生の野草が
たくさん見られます）



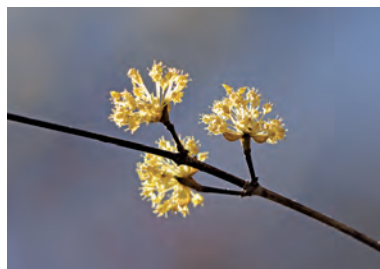
シキミ



クロモジ



コブシ



サンシュユ



節分会豆撒式に参加されたタレントの皆様 2/3

高幡不動尊 フォトニュース



力を合わせて～除夜の鐘 1/1



元朝祈願大護摩修行 1/1



青空に一斉放水～文化財防火演習 1/26



賑う参道～初詣 1/3



鈴木公道先生のご法話 1/28



福はうち!～職衆による豆撒 2/3



雪の残る境内で～初不動・だるま市 1/28



常楽会法話「お釈迦さま最後の教え」
新照寺副住職 渡邊章敬先生 2/15



インドハンセン病救援金を
IDEAジャパン様へ 2/8



数年ぶりの大雪 1/22



日野七福神巡り～弁天堂にて 1/4



不動ヶ丘から立川方面に日光連山を望む 1/5



福銭作り～高幡山遍照講の皆さん 1/12

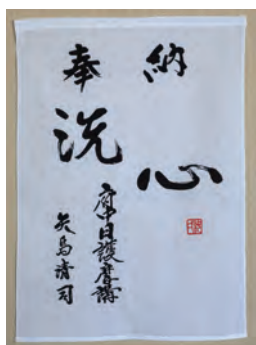
ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

品名 水屋 お手拭き 二千枚

奉納 府中日護摩講

矢島 清司



境内整備緑化資金

寄進者芳名

平成二十九年一月一日〜三十年一月三十一日

日野市 遠藤 和子

稲城市 寺尾 公平

八王子市 小坂 喜美代

彦根市 西澤 政男

(三回)

千体地藏尊

奉安者芳名

平成二十九年一月一日〜三十年一月三十一日

二体 八王子市 五味 真弓

松戸市 黒川 義一

東久留米市 飯島 常太郎

府中市 何江 鬱英

町田市 川越 美奈

町田市 白石 裕美子

幟旗奉納者芳名

平成二十九年一月一日〜三十年一月三十一日

千代田区 吉川 謙

世田谷区 榎村 修治

中野区 劇団スタジオライフ

西東京市 今井 大煌

多摩市 浅田 玲

国立市 両角 時和

日野市 豊泉 ちか子

日野市 堀内 良志美

日野市 増茂 典雄

日野市 平野 英夫

八王子市 青嶋 寿夫

八王子市 大熊 健一

八王子市 大熊 彰子

二本 福生市 町田 栄

町田市 諏訪 和世

横浜市 山本 芳男

相模原市 村松 卓峰

相模原市 秋山 直子

相模原市 水希

大提灯奉納者芳名

平成二十九年一月一日〜三十年一月三十一日

日野市 東谷野ロータリークラブ

西東京市 山田 青治

西東京市 山田 大樹

多摩市 勝又鉄筋工業(株)

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友誘い合せてご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

一、巡拝 毎月第一週の火・木・日曜日(五月は第二週)

一、会費 四九、六〇〇円(七回分)分割納入可

(納経料・バス代・保険料等を含む)

一、昼食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内龍華会まで

電話 〇四二五九一一〇〇三三番

東日本大震災復興支援チャリティーライブ
聲明とジャズのゆうべ

〇日時 三月二十三日(金) 午後六時開場・六時半開演
〇開場 日野市民会館大ホール(入場無料)



東日本大震災復興支援チャリティーライブ
2018年3月23日(金) 日野市民会館 大ホール
18:00 開場 18:30 開演 [入場無料]
お問い合わせ: 日野市民会館 TEL 042-585-2011



各 種 募 金 総 計 表 (平成30年2月20日現在)

インドハンセン病救援金	(21回)	15,900,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(11回)	5,300,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大水害救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(19回)	5,700,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
熊本地震救援金	(4回)	5,000,000円也
総 計	(110回)	92,047,319円也

募金の御礼とご報告

高幡不動尊金剛寺執事

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

尚 ユニセフ関係募金(○印)は合計一、二七五万円に

東日本大震災救援金は合計三、二〇〇万円になっております。

国宝まつり記念講演

春季大祭国宝まつり中左記の通り記念講演がございます。ご知友お誘い合せてご聴講下さい。

記

一、日時 四月三十日(月) 午後二時三十分から
一、会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)
一、講師 俳優 榎木 孝明 先生
一、演題 「充実の人生」
講師プロフィール

武蔵野美術大学デザイン科に学んだのち劇団四季入団。四季を退団後NHK朝の連続テレビ小説「ロマンス」の主役でテレビデビュー。映画「天と地と」テレビ「NHK大河ドラマ」舞台などで活躍。絵と旅を好み、アジア各地を中心に世界の風景を描き続けている。



五月大祭記念講演

五月大祭中左記の通り記念講演がございます。ご知友お誘い合せてご聴講下さい。

記

一、日時 五月二十八日(月) 午後二時から
一、会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)
一、講師 弁護士 菊地 幸夫 先生
一、演題 「出会いの人生から学んだこと」
講師プロフィール

弁護士。中央大学法学部卒業。日本テレビ「行列のできる法律相談所」の番組にレギュラー出演。弁護士の傍ら各地のトライアスロン大会へ出場。地元小学校のバレーボールチームの監督等も務めている。



春の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◇三月

○11日(日) フリーマーケット

○18日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(祝) 春分の日 彼岸会法要〈午前七時〉大日堂

弘法大師正御影供 〈午前七時〉大日堂

月例写経会〈午後一時三十分〉法話 山内僧侶

千体地藏尊月例法要〈午後二時〉法話 山内僧侶

月例祭(ご縁日)

◇四月

○8日(日) 花まつり(灌仏会)〈午前十一時〉

尚、甘茶接待は四月四日(水)〜八日(日)まで行います。

フリーマーケット

○15日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(土) 月例写経会〈午後一時三十分〉法話 山内僧侶

○27日(金) 30日(月)

春季大祭国宝まつり (詳細は左頁参照)

◇五月

○12日(土) 13日(日)

第二十一回ひの新選組まつり(詳細は十頁参照)

新選組友の会・歳三忌(詳細は十頁参照)

フリーマーケット

ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

月例写経会〈午後一時三十分〉法話 山内僧侶

千体地藏尊月例法要〈午後二時〉法話 山内僧侶

五月大祭

記念講演 午後三時―聴講無料―

講師 弁護士 菊地 幸夫先生

演題 「出会いの人生から学んだこと」

(詳細は七頁参照)

花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならない誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要(灌仏会)が行われます。

甘茶接待 四月四日(水)

～

四月八日(日)

花まつり法要 四月八日(日)

稚児募集要項

来る四月二十八日(土)の春季大祭国宝まつりのお稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

一、日時 四月二十八日(土) 午後一時

一、集合 午前十一時三十分(本坊)

一、申込 四月二十五日まで

一、冥加料 金七千円也

(お護摩料、お守り札、稚児袋、お供物、

衣裳料、化粧料、弁当三人前)

一、年齢 三歳〜七歳位まで

一、二準備 服装自由(しこき紐・細紐を各一本ご持参下さい)

(履物はなるべく草履・足袋をご持参下さい。)



春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十七日（金）

大 写 経 会

写経奉納大護摩修行……………午前九時三十分（客殿三階）

※記念法話【聴講無料】……………午後十一時三十分（不動堂）

講師 真言宗智山派教化部長

與樂寺 ご住職 笹沼 弘憲先生

演題 「真言宗における生きる力」

○四月二十八日（土）

春季大祭国宝まつり 世界平和祈願

稚児練供養大護摩修行……………午後一時（不動堂）

※奉納演芸【入場無料】……………午後三時（塔院大ホール）

柳家 三三師匠 落語会

林家 二楽師匠 紙切り

◇賑わいますのでお早めにお出かけ下さい。

五重塔仏彫刻拝観日【拝観無料】……………午前十時～午後四時

○四月二十九日（日）昭和の日

千体地藏尊総回向法要

午前の部……………午前十時（千体地藏堂）

午後の部……………午後一時（千体地藏堂）

※記念講演【聴講無料】……………午後二時（客殿二階洋間）

講師 東京都立大学名誉教授 峰岸 純夫先生

演題 「戦国時代の開幕

—東の享徳の乱、西の応仁・文明の乱—

※奉納神輿練り（地元愛好会奉仕）……………午後〇時三十分

出店 がらくた市（骨董市）ほか

○四月三十日（月）振替休日

大般若転読会……………午後一時（不動堂）

※記念講演【聴講無料】……………午後二時三十分（塔院大ホール）

講師 俳優 榎木 孝明先生（詳細は七頁参照）

演題 「充実の人生」

◇四月二十八日は五重塔最上階まで上がれます

……………午前十時～午後四時

大 写 経 会 の お 知 ら せ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大 写 経 会 を 奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十七日（金） 九時三十分

二、会 場 高幡不動尊客殿

一、会 費 金五千円也（尚、当山招待者は三千円）

（含写経奉納金、昼食代【精進料理】、記念品）

一、募集人数 先着一五〇名

一、日 程

受	付	9:00分
客 殿	合 集	9:20分
写 護	摩 修	9:30分
大 經	行 式	11:30分
写 主	捺 摺	12:15分
貫 念	食 法	13:00分
昼 記	話	

○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで

TEL ○四二―五九一―〇〇三二番（代）

千 体 地 蔵 尊 総 回 向 法 要

左記によって千体地藏尊総回向法要を勤修し、皆様方の諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い合わせてご参拝下さい。

記

一、日 時 四月二十九日（昭和の日）

午前の部 十時から

午後の部 一時から

一、会 場 塔院千体地藏堂

一、冥 加 料 金式千円也（但、お札料）

○ご回向の塔婆をご希望の方は別に参千円（二体）を添えてお申し込み下さい。



第二十一回 ひの新選組まつりの概要

ひの新選組まつりが来る五月十二日(土)・十三日(日)の両日左記の通り盛大にとり行われます。

記

五月十二日(土)

新選組隊士総慰霊法要 正 午 五重塔々院大ホール

参加料等はありませんので奮ってご参列ご焼香下さい

新選組隊士コンテスト 午後二時 五重塔々院大ホール

五月十三日(日)

新選組隊士全員集合 午前九時二十分 大日堂前

新選組隊士出発式 午前九時四十五分 土方歳三像前

このあと午前中は高幡山境内及び門前町で隊士の皆さんのパフォーマンス等

昼食後日野第一小学校へ移動

新選組パレード(甲州街道交通規制 午前十時〜午後四時)

会場 甲州街道川崎街道入口より日野駅まで約五〇〇米

パレード 三〇団体余り・約一〇〇〇名

隊士パレード 午後一時三十分〜三時

催し物と 日野宿 会場内各所でさまざまな催しもの及び出店があります。

出 店 高 幡 高幡不動尊境内では十二日・十三日の両日新選組関係市町村

や大震災被災地の物産展等が予定されています。

尚十三日は月例のリサイクル市が開催されます。

※都合により開催内容が変更される場合があります。詳しくは日野市観光協会ホームページ等でお確かめ下さい。

新選組友の会・第四十三回歳三忌のお知らせ

五月十二日(土)

午前十一時 石田寺墓地にて読経・焼香

午後一時半 高幡不動尊信徒会館にて記念講演

講師 小島政孝氏(小島資料館館長) 演題「小島家と土方歳三」

参加ご希望の方は「大出俊幸氏」にお問い合わせ下さい。TEL〇九〇―七七三六―九〇七三
会費 二、〇〇〇円(含記念品) 当日会場支払 ※募参のみは無料です。



歳三像前にて法楽



新選組隊士出陣

山主の主な動静

12/4 初詣警備会議・12/5 住職伝達式・菩提院結衆親授式(本山)
・12/8 教学振興会(別院)・12/13 煤払い・12/14 中外日報取材・12/15 多摩菊花連表彰式・12/16 総代世話人会・12/17 阿部龍文親下本葬(満願寺)・12/22 京王本社年末挨拶・星まつり法要・1/1〜1/3 新年大護摩修行・1/5 牛王宝印々可・ジェイコム取材・1/18 内局年賀・江戸消防新年会(新宿)・1/19 観光協会正副理事会・1/22 初不動・節分警備会議・別格本山会議(別院)・1/24 東京地区七教区新年会(新宿)
・1/25 まちおこし連絡協議会・遍照講連合会総会・1/26 文化財防火演習・1/28 初不動大祭・1/31 豆煎り式・2/3 節分会・2/5 教区総会(京プラ八王子)・2/7 市長挨拶(市役所)・2/9 警備反省検討会・2/15 常楽会・2/19 まちおこし実行委・新選組まつり実行委・2/20〜2/21 紫波町視察旅行・2/22 幡山会総会(立川)・2/23 消防反省検討会・2/24 不動院(下総印旛教区)参拝団・2/27 のびゆく写真表彰式(市民の森)

山内消息

煤払い (12/13)

当山年末の恒例行事である煤払いが十二月十三日に行われました。

早朝よりご信者の皆様の見守る中、当山僧侶・職員総出で煤竹を作り、お不動様へ法楽をあげた後に、数組に分かれて全お堂の一年分の煤を払いました。

お堂もご本尊様も綺麗になり、いよいよお正月を迎える準備が始まりました。

(百戸記)



感謝を込めて煤払い

星まつり (12/22)



年に一度の牛王宝印

冬至の日、午後五時から不動堂において星まつりが勤修されました。お堂に星供曼荼羅をおまつりし、全国各地より申し込まれる皆様方の開運・厄除・無病息災を御祈念致しました。

ご参拝頂いた後には、温かい冬至うどんのご接待にて暖まっていたきました。

(速水記)

牛王宝印可 (1/15)

当山では毎年一月十五日に不動堂内陣参拝の際、牛王宝印のお授けが行われています。牛王宝印とは御本尊不動明

王様と同じ霊木で作られた秘印で、古来より息災延命・頭痛除けの霊験で知られております。年に一度のお授けとあって多勢の方が来山されました。

(丸山記)

総本山内局来山 (1/18)

一月十八日、京都の総本山智積院から芙蓉良英宗務総長をはじめ、内局の皆様総勢八名が新年のご挨拶に来山されました。ご一行は大護摩修行に参列され、世界平和・興隆佛法と宗門繁栄、檀信徒の安全をご祈念されました。ご一行は貫主と会談された

ご一行は貫主と会談された



総本山内局ご一同様

後、大本山高尾山薬王院へと向われました。(上田記)

文化財防火デー (1/26)

昭和三十四年一月二十六日法隆寺金堂の炎上・壁画の焼失がきっかけとなり、文化財保護の理念に基づいて制定された「文化財防火デー」。当山でも毎年の恒例行事となっています。今年も日野消防署、豊田・高幡主張所のご指導のもと、消防団第五・七分団、地元三商店会、境内出店業者、災害時ボランティアの皆様のご協力と当山自衛消防隊の参加により大規模な防火演習が行われました。

てまいります。(直井記)

豆煎式 (1/31)



園児もお手伝いの豆煎式

例年とは違い四年振りの大雪が境内に残り、最強寒波と呼ばれる寒気の中での演習となりましたので、凍る足元が大変な緊張を強いられましたが関係各所との連携を確認する良い機会となりました。

これからも千年を誇る当山の文化財を後世に守り伝えていく為にも、一層の精進をし

(杉田周記)

年末・年始の行事に参加して

ご参加された方々のお声を紹介いたします。

おみがき(12/18)

多摩市 林田 眞悠

初めてお磨きをさせていただきましたが、とても貴重な体験でした。磨いている仏器が普段はどこに置いてあるかなどお寺の職員さんにお話を聞けたり、いつもお磨きをしている方たちと交流ができました。機会があれば参加したいと思います。

立川市 前野ひとみ

普段目にするのできな



星まつり大護摩修行

い仏器を手にながらだったので本日はこの器がどのような用途で使われる物なのか考えていたり、彫刻の美しさや磨くことで輝き始める器の色に見入りました。作業しながらお香の匂いに気付いたり、年輩の方々と作業するのは心安らぐところがありました。

日野市 伊藤 優

仏具を研磨することは単純な作業ではなく、自己を研鑽する尊い行為に思えます。人の煩惱を吸収し疲れたであろう仏具を研磨し、光沢を取り戻す行為の際、自らの魂が清浄とされ仏具に反映された瞬間、大変晴れやかな気持ちになりました。

八王子市 秋葉 喜野

御詠歌に参加してからお寺の行事に参加させて頂き、仏具のおみがきも普段の生活の中で接することのできない物を手にし大変感激しています。増々精進したいと思います。



冬至うどんのご接待

星まつり(12/22)

町田市 小山真理子

毎年、節目の年末行事として家族で参加させていただいています。まだうどんが食べられない生後一ヶ月の頃(平成十年)から息子は参加しています。お護摩の最中に泣き出してスタッフの方につれ出していただいた心温まる対応が忘れられません。来年もよろしく願います。

東大和市 北濱 薫
毎年おいしいうどんと白菜の漬物を楽しみに通っています。本当に美味しいです。うどんをいただく今年も

終わりだと感じます。

多摩市 須藤 幸代

今年初めて星まつりに参加致しました。来年こそ良い年になるよう心より願いました。思い掛けずおうどんの接待を受け、びっくりしました。

毎年参加したいです。

日野市 高橋 紀子

毎年参加させていただいています。

有難いご祈祷と説法、その後の美味いうどんをいただき、お札を受け取って帰ると来年の活力を授けられたようで、我が家の恒例行事になっています。ありがとうございます。

来年もお不動様に温かく見守ってもらいたいです!!

世田谷区 大川 智子

初めて参加しました。とても厳かな雰囲気でした。炎があがる時は何とも言えない迫力を感じました。来年が良い年になりますようにと願い、心が洗われるようでした。

おうどん、漬物もおいしくいただきました。ありがとうございます。

成人式(1/8)

日野市 百戸 らん

今年成人式を迎え、家族や友達、今まで出会えたすべての人に感謝して生きていきたいです。

初不動稚児行列(1/28)

立川市 池谷 俊祐

春から小学校へ進学する為、元気に通える様に願いを込めて参加を決めました。男の子なので、本人の希望で薄化粧にさせていただきました。澄み



多くの新成人が来山されました



着付けは初めてかな

わたる青空の下で、晴れやかな衣装を身にまとい、進学への不安も消えた様に思います。参加できて良かったです。

この日の為にご準備いただきましたこと感謝いたします。良い記念になりました。

船橋市 伊豫田藍子・雛子
祖父母が以前よりお稚児さんを楽しみにしておりました。下の子もやっと歩けるようになり、姉妹で念願のお稚児さんになることができました。

日曜日だったので親子で参加でき、ありがたかったです。貴重な体験を雪化粧の中、素敵に過せました。ありがとうございました。



緊張気味のお稚児さん

経験をさせて頂きました。家族の大切な思い出となりました。どうもありがとうございました。

磐田市 高柳佳代子
親子二代でお稚児さんをさせて頂きました。三十年前の記憶が今思い出されています。

日野市 岡崎 碧

また機会がありましたら参加させて頂きます。

豆煎式(1/31)

日野わかくさ幼稚園保護者
小林 瑞穂



園長先生と「福は一内!」

親子で参加致しました。子供たちの無病息災を祈願した後お坊様と一緒に福豆を煎るとい、とても貴重な体験を娘もさせて頂きました。

節分を過ぎれば春が来ます。四月から小学生になる娘にとって学校生活が素晴らしく、お不動さんの様に強く、優しい人になって欲しいと心より願う一日となりました。

日野わかくさ幼稚園保護者 塩沢 照美

「お不動様は怖い顔をなさっているけど、皆を守って下さっているんだよ」園長先生のお話から始まった豆煎式。内陣で手を合わせ、大きな杓文字で懸命に豆を煎り、元気に豆をまく姿はいつもの子供達よりも凛として見えました。

最後に娘が引いたおみくじに「新しい風(追風)が吹いています 大空を吹き抜ける春風の如く 旺盛な行動力」と。四月から一年生になる子供達の背中をお不動様が勇ましく、優しく支えて下さっている様です。



豆煎式で大活躍のううちわ

日野わかくさ幼稚園保護者 祐成 智子

テレビに映るか写真を撮られるかとドキドキワクワクしていた娘でしたが、当日になると普段は見慣れない袈裟を掛けた園長の姿や高幡不動尊のお坊さんの荘厳な儀式に緊張し、そんな気持ちに吹き飛んでいる様子が微笑ましく感じられました。普段は経験できない豆煎り式という由緒ある行事に参加させて頂けたことは貴重な思い出になり、高幡不動尊への愛着が深まる素晴らしいイベントでした。頂いた豆は娘が家族に振る舞ってくれました。

節 分 会

今年は心配された雪の影響もなく晴天に恵まれ、四万人の参詣者で賑わいました。年男年女に特別参加された方は、相田翔子さん・つのだ☆ひろさん・寺泉憲さん・照英さん・土屋巴瑞季さん・藤原浩さん・岩崎愛子さん・ミス日本各受賞者の皆さん・祇園の舞妓さん・ハローキティちゃん・ピーポくん・キュータくん・イータクんのキャラクターも参加しました。



相田翔子さん(中央)と寺泉憲さん(右)

幡の山々を背に、新たな年が始まりました。善男善女がい集いて不動の力に抱かれている実感に喜びがあふれます。

俳優 寺泉 憲

一昨日の雪も溶けて快晴の節分を迎え、心新たに皆さまに豆をまかせていただきました。

“笑う角には福来る”今年も笑顔で、元気で、過ごしたいです。

タレント 照 英

女優・歌手 相田翔子
多くの方々の笑顔に出会えた事に感謝しつつ、心を込めて豆まきをさせて頂きました。どうか福が沢山訪れますように。

戊年、年女の私にとっても高幡不動尊でご祈祷して頂き、良いスタートができました。

歌手 つのだ☆ひろ

清らかな空気があふれる高

モデル 土屋巴瑞季
初めての機会で、最初は緊



照英さん(中央)とつのだ☆ひろさん(左)

祇園舞妓 市 晴
今年も豆まきに寄せていただけで、とても嬉しおす。みなさんに、たくさん福が舞い込みますように。

祇園舞妓 小 ち み
とてもたくさんの方に福を届けることが出来たと思います。私たちも楽しくすごせました。おおきに。

ミス日本ランプリ 市橋 礼衣
関東三大不動の一つである、

この有名な高幡不動尊にお参りできたことをとても嬉しく思います。本当にたくさんの方にお会いでき、又たくさん笑顔を見え、改めてこの素敵な行事に参加させて頂けたことに心から感謝申し上げます。素晴らしい一時をありがとうございました。

歌手 藤原 浩
今年もありがたいことに節分会に参加させて頂きまして、皆様と共に健康で一年を過ごせますように心を込めて 福はーうちー

感謝合掌

歌手 岩崎 愛子

前日までの雪降る寒さが嘘のように快晴のもと豆まきをしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

「曼珠沙華咲く高幡で」

今年も大切に歌わせていただきます。

ミス日本ミス着物 岡部 七子
自分で豆をまくというのは初めてでした。大変貴重な機会を与えていただき、ありがとうございます。一生忘れられない一日になりました。

気を頂いてしまいました。そんな皆様にたくさん福が来ることを心より願っております。笑顔が絶えない日々を過ごせますように。

ミス日本「海の日」山田 麗美
ミス日本「海の日」ということで青の振袖に、帯は梅の花の形で締めさせて頂きました。遠くの方まで福を届けるのは大変でしたが、沢山のエネルギーを頂き楽しくできました。

準ミス日本 霜野 莉沙
豆をわたす時には一人一人とコミュニケーションを取りながら福をお分けする気持ちを込めました。受け取って下さった方々の笑顔に、さらに福を頂きました。



ミス日本の皆さん

高幡いきもの晏茶羅 ②

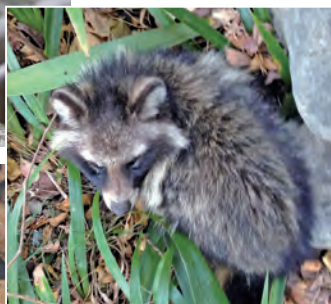
お正月も一段落したある日、鐘楼堂近くでひととき大きなドラミング音が聞こえて来ました。音のする方を探してみると、まさにアオゲラが木をつついていてるところでした。木の葉の落ちた冬は野鳥観察に最適な季節です。不動ヶ丘には様々な野鳥が生息していますが、時に珍しいお客様に出会うことがあります。この冬は黄色い嘴も鮮やかなイカルの群れを目にしました。

また可愛いタヌキを見掛けるのも冬から春にかけて。夜行性の彼らは滅多に人前に現れないのですが、お正月になると境内にただよう屋台のいい匂いに誘われて出てくるようです。タヌキは人を化かすといいますが、実際はタヌキの方が化かされているのではないのでしょうか。

更に立春を過ぎて日差しに暖かさが感じられるようになると、水場ではアカガエルが冬眠から目覚めます。六地藏脇のマンサクの花が咲き始める頃、運が良ければ目覚めたばかりのカエルの大合唱が聞こえるかも知れません。

金鏤梅を背敷に咲かせ六地藏 祐勝

イカル
山内八十八ヶ所にて



タヌキ 稲荷社付近にて



アカガエル 愛宕池付近

なにげなくつかっている仏教のことは―玄翁・玄能(げんのう)

ダイコンの漬物の「たくあん」が、江戸時代前期の臨済宗の禅僧である沢庵宗彭(た

くあんそうほう)に由来することはよく知られています。

大工や石工が建築や石を砕くのに使う大型の金槌の「げ

んのう」もまた、僧侶の名に由来するものです。

宮中で悪事をはたらき那須に逃げてきた九尾の狐は、矢

で射殺されて殺生石となり、絶えず猛毒を放って付近の住民を苦しめていた。至徳二年

(小林靖典)



お不動さま教えて?

ご質問 高幡のお不動さまにお参りした際、広い境内の奥にある本堂の入り口の脇に、仏足石なるものが置かれていました。その石には大きな足跡が彫られて、そこにはいくつかの文様が描かれていました。

そこで質問なのですが、仏

足石の文様にはどのような意味があるのでしょうか。どうかお不動さま教えてください。



大日堂玄関前の仏足石

足跡はお釈迦さまの遊行

お答え はい、お答えます。

仏足石とは、お釈迦さまの足跡を石に刻んで、礼拝・信仰の対象としたものです。お釈迦さまが入滅してから数百年の間は、仏像を造ることが

は禁じられていました。代わりに、菩提樹の下でお釈迦さまが覺りを開いたことから菩提樹を、煩惱を摧破するとされる法輪を、またお釈迦さまの足跡を、またお釈迦さまを表現し信仰の対象としました。

お不動さまに置かれている仏足石には、千輻輪・三寶章・螺王紋・魚印文が刻まれています。そこで、それらの文様の意味についてお話していきます。

まず千輻輪ですが、『別訳阿含經』なるお経には、お釈迦さまの足跡について次のような話しが説かれています。あるバラモンが道で足跡を見たとき、その足跡には千輻輪の文様があった。不思議に思ったバラモンが足跡をたどっていったところ、お釈迦さまに出会うことができたというものです。

また三寶章は仏と法(教え)と僧(信仰を共にする者)を、螺王紋は法輪の音が遠くまで響くようにお釈迦さまの教えが人々に届くことを、魚印文は魚が常に眼を閉じないように、お釈迦さまのお徳が常にあらわれていることを、それぞれ表現していると考えられています。

皆様からのお便り

年末年始、初詣の皆様をお迎える準備を、学生さんにお手伝いいただいております。今年は九十名の若い力が集まりました。

永江 広明

大学一年生の時から、年末年始の高幡不動尊でのアルバイトでお世話になりました。

四年間を通じて様々な経験をいただき、お坊さん、職員の方、共に働く仲間たちから多くのことを学ばせていただきました。四月からは社会人として仕事をする事になります。

ですが、このアルバイトでの学びを社会に活かせるよう一生懸命頑張りたいと思います。

白石みつな

冬の訪れは高幡不動尊アルバイトの始まり。お寺での正月アルバイトも今年で四年目になりました。優しい先輩方や職員の方々、そして美味しい食事を用意して下さる厨房の方々に支えられ、毎日笑

顔で過ごすことができました。ここでの貴重な経験を今後の人生にも活かしていきたいと思っています。ありがとうございます。

牧野 麗香

二年間アルバイトをさせていただきありがとうございます。一昨年の大晦日に初めてお寺に泊まりました。一度目のお正月はずっと交通祈願所でお守りの担当でした。そこではお客さんではなく、ご参拝の方だという事を教えて頂いたことがとても新鮮で今でも覚えています。

二度目のお正月は、交通祈願所だけではなく、いろんな部署を体験する事ができ、去年よりも職員の方のお名前を覚えることができました。私の母も学生の頃、高幡不動尊でアルバイトをしていたので自分の母を知っているお坊さんもいて、人との繋がりを強く感じました。

私はここでの仕事が大好きで、本当に楽しみで、毎年十二月になるのがとても待ち遠



「笑顔も満開！」あじさいの部 銀賞
八王子市 佐々木芳子



「紫陽花が彩る供養塔」あじさいの部 銅賞
日野市 羽賀 道行

しい気持ちでいっぱいでした。たくさん失敗をしてしまったのですが、こんな私を二度も雇っていただきありがとうございます。これからの人生の中で忘れられない思い出になりました。

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日
八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)
五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料

金参千円也
金五千円也
金壹万円也

(大護摩) 金参万円以上
ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)
毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市)
毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ
毎月十五日午前九時

月例写経会
毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要
毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時
拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襷絵拝観
午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円

(月曜休館)
尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

全国的に異常な寒波に見舞われ、連日各地で大雪被害が報道されました。境内も二十数cmの積雪で数日間雪掻きの日々でした。それでも、山内の梅も綻び始め露の臺も地面から顔を覗け、少しずつ春めいていることを実感します。

今号は年末からのご報告と春の行事のご案内をいたしました。自然豊かな境内で春を探してみても如何でしょうか。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別 格 本 山
高 幡 山 金 剛 寺

電 話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038

発行人 黒川 高德
編集人

年 4 回発行・再生紙使用